

企画展

戦国大名は
如何に
軍需を
調達したか

武器・武具・兵糧と、軍資金

令和元年 11月30日 土

令和2年 2月16日 日

戦国大名は 如何にして軍需を 調達したか

英雄の時代とされる戦国時代は、兵士の犠牲、農村の荒廃、放火や略奪の横行などの負のイメージも併せもつ。戦国大名は、多数の武将や兵士を従え、実に百年を越える間、戦に明け暮れた。本展では、当時の文献記録のほか、城郭や城下に残された当時の武器・武具・生活遺産を手掛かりに、戦国大名や武将たちが、頻繁な戦を永く継続することができた理由を探る。

戦国大名が兵士と軍備を徴発した「軍役」とその背景を考える

軍を組織する



戦の際の参陣では武士たちが自前で刀等の武器や武具を調達していた（個人蔵）



戦の際に着用の上での参陣が命じられた煌びやかな甲冑（個人蔵）



出陣に際して指示されることのあった金箔を押した馬鎧（川越歴史博物館蔵）

戦国大名が城に備えた軍備と兵糧の実態を追う

城の備えと兵糧



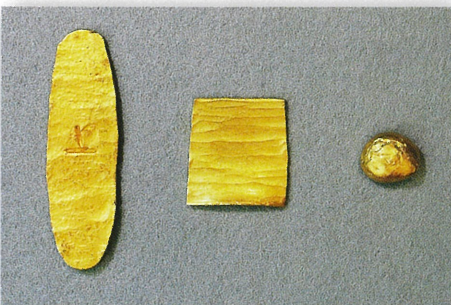
真里谷城跡で出土した戦時の食事の在り様がわかる炭化米の塊（木更津市教育委員会蔵）



八王子城跡で出土した大砲の弾とその鋳型（八王子市郷土資料館蔵）

戦国大名の軍需調達の資金源を探る

軍資金



騎西城武家屋敷でみつかった戦国時代の金貨（加須市教育委員会蔵）



武田氏が開発した黒川金山で使用されていた鉱石粉碎用の回転臼（甲州市教育委員会蔵）



関連事業

- 【企画展関連講演会「戦国武将と甲冑―武装自弁とお貸具足―」】
講師／伊澤昭二氏（甲冑研究家）
日時／令和元年12月13日（金）午後1時45分開演
定員／500人（定員を超えた場合抽選）
費用／100円
- 【嵐山史跡の博物館セミナー「戦国大名は如何にして軍需を調達したか」】
基調講演／伊藤正義氏（元鶴見大学教授）
【演題】「上杉謙信の関東侵攻―飢饉と徳政と越山―」
事例報告／盛本昌広氏（中世史研究家）
【演題】「軍需物資の流通と確保―鉄・鉛・塩硝・鉄製品を中心に―」
佐々木満氏（武田氏館跡歴史館館長）
【演題】「戦国大名武田氏の産業と軍需―武田氏関連遺跡の調査成果から―」
日時／令和2年1月26日（日）午前10時00分開演
定員／500人（定員を超えた場合抽選）
費用／500円
申込み／往復はがきに①御希望の講演会名、②氏名、③住所、④電話番号をお書きの上
企画展関連講演会は11月1日（金）～11月29日（金）必着
嵐山史跡の博物館セミナーは12月1日（日）～令和2年1月7日（火）必着
で当館までお送りください。
なお、1通で2つの講演会に申し込むことはできません。
どちらもお申込みになりたい場合は、必ず各1通ずつご投函ください。
問合せ／埼玉県立嵐山史跡の博物館 電話0493-62-5896 FAX0493-61-1060
会場／講演会・セミナーとも国立女性教育会館講堂

●学芸員による展示解説

日程／令和元年12月8日（日）・15日（日）
令和2年1月5日（日）・19日（日）
2月9日（日）・16日（日）
いずれも午後1時30分～午後2時30分
申込み／不要。当日展示室受付前にお集りください。
費用／100円（ただし入館料）

入館案内

開館時間 午前9時00分～午後4時30分（入館は午後4時00分まで）
休館日 12月／9日・16日・23日・29日・30日・31日
1月／1日・2日・3日・6日・20日・27日
2月／3日・10日
入館料 一般100円、高校生・学生50円
中学生以下と障害者手帳をお持ちの方（付添1名含む）は無料
開催場所 埼玉県立嵐山史跡の博物館／埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷757
電話0493-62-5896 FAX0493-61-1060
交通案内 電車 東武東上線武蔵嵐山駅西口から徒歩15分
自動車 関越自動車道東松山ICまたは嵐山小川ICから約10分

